

浦添市てだこ市民大学雑記帳 第36号

令和元年(2019年)8月

令和元年度浦添市てだこ市民大学第7回から第10回では、浦添の歴史、教育、子ども・子育てと高齢者の支援を取り上げました。

今回の雑記帳では、今年度中盤の講座の様子をお知らせします。



【 第 7 回 公開講座 うらそえの歴史 】

7月13日(土)は、浦添市立図書館長で琉球歴史研究家の上里隆史さんをお招きして、公開講座「浦添・沖縄の歴史とその可能性～足元に眠る『宝』を掘り出す～」を開催しました。



浦添・沖縄の歴史に先端技術を活用した観光の観点などを絡めた講話に、今年度受講者をはじめ、受講した64人の皆さんが、足元に眠る『宝』を意識する機会となりました。受講された皆さんには、「わたしの知っているすてきなうらそえ」をカードに記載していただきました。



【 第 8 回 地域の子ども達の現状とその支援 】

7月18日(木)の講座は、宮城が原児童センター館長・浦添市てだこ未来応援居場所づくり事業運営団体「ムジカ バンビーネ」代表の池原千佳子さんに、夫婦共働きや片親世帯が多い地域の現状や、センターで取り組まれている支援について伺いました。



初めて耳にすることも達の現状に触れるとともに、子ども達が安心して集まることができる児童センターの役割を再認識しました。そして、その支援として、一人一人ができること、取り組みたいことをカードに書いて、共有しました。



【 第 9 回 浦添市の学校教育 】

7月25日は、浦添市教育委員会指導部長平良亮さんに、浦添市の学校教育についてご講話いただきました。

平成27年度から導入したタブレットPCを利用したICT授業や、平成16年度から取り組んでいる英語教育の推進など、浦添市の「わくわく・どきどきする」学校教育の特色を伺いました。



受講者からは、「子ども達への取組がすごい！」という感想だけでなく、不登校の子ども達の現状へ驚きの声が上がりました。親と学校との連携による生活リズム作りや、福祉教育、美化活動への取り組みなど、学校との関わりを考える機会となりました。

【 第 10 回 高齢者の支援 】



8月1日の講座のテーマは、「高齢者の支援」でした。いきいき高齢支援課の知念亜希子主幹より、

様々な統計データを活用しながら、浦添市の高齢者・地域の現状をお話し頂きました。

65歳以上の離婚率の高さ、単身者数の多さ、若年者の死亡率の高さなどの驚く実態を伺い、「野菜を沢山取る」「運動を心掛ける」「助け合える仲間をつくる」など、それぞれが取り組みたいことを掲げました。

* 今回ご紹介した講座については、ホームページでご覧になることができます。

～問い合わせ先～ 浦添市市民部市民協働・男女共同参画課
電話：098-874-5711 ファックス：098-874-5890
メール:siminkyodo@city.urasoe.lg.jp
ホームページ：http://www.city.urasoe.lg.jp/soshiki_docs/introduction/hamonycenter/
フェイスブック：<http://www.facebook.com/urasoecityharmonycenter/>



10周年記念 てだこ市民大学卒業生寄贈 絵本贈呈式

8月21日、市立図書館において、卒業生有志の皆さんから絵本の贈呈がありました。引き続き、近隣の保育園児の皆さんへの読み聞かせも行われ、会場は子ども達の輝く瞳で埋まりました。

